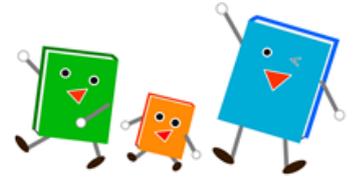


# 子ども図書館おすすめの本

～令和3年冬～



中学生、高校生

	題 名 等	表 紙	内 容
1	「影との戦い 改版」 (ゲド戦記Ⅰ) ル＝グウィン／作 清水 真砂子／訳 岩波書店		類まれな魔法の力をもつ少年ゲドは、真の魔法を学ぶためロークの学院に入る。しかし高慢な心から正体不明の“影”を呼び出してしまふ。ゲドは影に追われさまようが、ついに影と向き合う。影の正体とは…。後に大賢人となるゲドの若き頃の物語。真の師、友、竜との出会い、“光と闇”の世界が壮大に描かれるファンタジー。
2	「眠れなくなる宇宙のはなし 増補改訂版」 佐藤 勝彦／著 宝島社		宇宙の95%は正体不明だという。その宇宙を人間はどう見て理解してきたかを、物語のように描いた本。古代の宇宙観から地動説、ビッグバン、最新のブレイン論や話題の「重力波初検出」まで、宇宙観をふりかえる。宇宙や人間に思いをはせるような解説とお話に、文系の人もワクワクするかも。(絵本版もあります。)
3	「くまとやまねこ」 湯本 香樹実／文 酒井 駒子／絵 河出書房新社		ある日突然、最愛の友だち、ことりをなくしてしまった、くま。その日からずっと、暗いへやにひとり閉じこもる日々…。ある時、久しぶりに窓をあけてみると―。大切な存在を失った悲しみと喪失感。その時間を重ねた後に、あらたな光に出会う再生の物語。大切な存在を失った心に、そっと寄り添うように描かれた絵本。